教 科	教科	科目名	数学Ⅱ	単位数	2			
学 科	全学科	学 年	3 学年	履修区分	必修			
使用教科書	高等学校新編数学Ⅱ(第一学習社)							
副教材など	副教材など スタディ数学 II (第一学習社) 完成ワーク(増進堂)							

1. 科目の目的

数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、物事を数学的に考察する能力を高めるとともに、数学的な考察方法や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てます。

2. 授業の内容と進め方

予習・復習をもとにして、基礎・基本を重視し、日常場面での諸問題を数学の場にのせて数学的な見方や考え方を 養い、数学を活用する態度の育成、一人一人の個性を重視し、論理的な思考力や直観力の育成を目標に授業を進め ます。

3. 学習する上での留意点

数学を積極的に活用していく態度は、数学的な見方や考え方を認識することにより、関心や意欲が高まり育っていくものである。そのため、数学を学習する上では、概念や原理・法則の理解を深めたり、事象を数学的に考察し処理する能力を高めたりする課程を通して、そのよさの認識を深めることが大切です。

4. 課題等について

副教材「スタディ数学Ⅱ」、「スタディ数学Ⅰ・A」(第一学習社)をすべての生徒に購入させています。授業での演習として使用したり、家庭での課題・予習・復習に使用します。また、就職問題集での演習も行います。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評 価 規 準
関心・意欲・態度	日常生活の事象を数学的に捉え、主体的に問題意識をもち、それを自分の力で解決していく意欲や態度を育てます。また、数学的な見方や考え方、数学を積極的に活用していく態度を身に付けます。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し、論理的に思考する習慣や、正しい論理に従う習慣を身に付けます。また、自分の考えを論理的に整理し、判断する態度を身に付けます。
数学的な技能	問題解決に当たって、いろいろな角度や観点から考察し、数学的な関係や考え方を念頭に置いて、問題を分析・整理し、判断する態度を身に付けます。
	各単元の内容に沿った用語・記号、概念、定理、公式などを正しく理解し、それを的確に活用する力を身に付けます。また、数学の概念や定理・法則がどのように構成され、組み立てられているかを理解し、それをより深く理解しようとする態度を身に付けます。

6. 評価の方法

評価については、期考査・校内実力テストでの成績や各単元における小テストの成績、課題の提出状況等を平常点として加え、総合的に判断します。

- (1) 定期考査の結果をもとに学習内容の理解度、定着度を評価します。
- (2) 校内実力テストの結果をもとに学習内容の理解度、定着度を評価します。
- (3) 授業への取り組み状況、学習意欲、学習態度、学習に取り組む姿勢を評価します。
- (4) 授業時のノートやプリントを提出させて整理の状況、学習活動への取組み状況を評価します。
- (5) 課題等への取り組む姿勢および提出状況を評価します。

《指 導 計 画》 科目名 数学Ⅱ

3 学年 2 単位

		可	_ 5	<u> </u>
学期	月	学習内容 (単元·考査等)	学習のねらい	評価方法等
1 学		第6章 微分と積分 6.2 関数の値の変化(方程式・不等式の応用まで) 6.3 積分 演習 中間考査	関数の増減表から導かれたグラフを用いて、3次方程式の解の個数や、最大値・最小値を求められるようにします。 不定積分を導関数との関連から導入し、定積分へと発展させていく。定積分の基本的な計算能力の定着を目標とする。また、図形の面積を求めることに利用できることを理解させ、実際に求められるようにします。	
		第2章 複素数と方程式 2.1 複素数と方程式の解 1学期期末考査	複素数を導入することにより、2次方程式が常に2つの解をもつようにします。2次方程式に関連して、判別式、解と係数の関係を用い、計算の応用範囲を広げます。また、因数定理を用い、計算の応用範囲を広げます。また、高次式の因数分解や、高次方程式の解を求められるようにします。	
	7	2.2 高次方程式 就職試験対策問題(完成ワーク)		
	9	就職試験対策問題(完成ワーク)		
2 学		第1章 式と証明 1.1 式と計算(二項定理まで) 2学期中間考査 1.1 式と計算(整式の除法,分数式とその計算)	多項式の割り算における商と余りの求め方を理解し、その結果得られる等式を使って問題を解けるようにします。 恒等式の概念と性質を定着させます。等式や不等式の証明方法について理解させます。これらを通して数学的な考え方や論理的思考力を養います。	
期	11	1.9 放光 不放光の紅明		
	11	1.2 等式・不等式の証明 数学 I・A, 数学 II の重要項目の復習	高校3年間で学習してきた内容を、クラスの 実態に応じて、総復習をすることにより、学習 内容の定着を図ります。	
	12	2学期期末考査		
H	1	数学 I ・A, 数学 II の重要項目の復習		
3 学 期	2	学年末考査		
79]	3			